

事業名称		
事業名	大町統合校建設事業	
整理番号	23-11	
事業の種類	建築物の新築又は増築	
市町村名	大町市	
箇所名	大町市大町3,691-2	
事業年度	平成24～30年度	
事業概要		
目的	大町統合校(大町高校、大町北高校)に伴う校舎・施設等の整備	
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	管理特別教室棟(RC3F3,755㎡)、普通教室棟(RC4F3,349㎡)、大体育館(RC+S2F1,708㎡)、渡り廊下(S1F96㎡)、部室棟(W2F487㎡)、駐輪場(S1F205㎡)、既存棟解体(RC3Fほか約5,256㎡)	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	都市計画法の用途地域(第一種中高層住居専用地域)	都市計画法の用途地域(準住居地域)
	都市計画法の用途地域(第一種住居地域)	文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地
その他	なし	
環境要素		
	環境配慮の方針	
大気環境	集じん装置、有害物質処理装置等の設置を行い大気汚染の発生を防止する。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 防音壁、防音シート、緩衝緑地帯等の遮音設備・吸音設備を設置し、騒音を低減する。	
水環境	工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 透水性舗装の導入や舗装面の削減、浸透側溝・浸透枡・芝舗装の導入等、雨水の地下浸透により水循環を保全する。	
地形・地質	工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	
景観	主要な眺望景観や自然・文化的景観を阻害するような建築物の立地を出来るだけ避ける。 工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。	
廃棄物・建設残土	建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	
省資源・省エネルギー	アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 建築物の断熱化に努める。	
日照障害・電波障害・光害	日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	文化財	周知の埋蔵文化財包蔵地があるため、文化財への配慮を行うこと。	工事前に埋蔵文化財の発掘調査を行います。